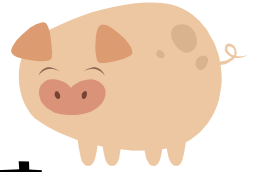


# 畜産とくつく情報

平成 20 年 4 月 25 日  
(通算第 86 号)  
問い合わせ先  
長野県庁園芸畜産課  
電話 026-235-7232

## 養豚特集



～養豚農家のみなさまへのお知らせです～

### その 1 養豚振興対策(助成事業)のお知らせ

国の平成 20 年度畜産対策(飼料高騰緊急対策)で、種豚改良や特色ある銘柄豚生産などの、豚生産性向上目標を掲げ、その目標に向けて地域が一体となって達成しようという取組を下記の二つの事業で支援します。

#### 大きな二つの養豚振興事業の紹介

- ① 地域養豚振興特別対策事業 ←← 種豚の改良、銘柄豚の生産等を支援します
- ② 養豚生産性向上緊急対策事業 ←← 繁殖性向上、事故率低減等の支援をします

#### 事業対象者

概ね 3 戸以上の養豚生産者で構成する集団、農協等の団体です(規約があること)

#### 要件

- ◆ 配合飼料価格安定制度への加入者であること(最重要)
- ◆ 『豚改良に係る改善計画』や『豚生産性向上目標』の作成が必要です

事業名	補助対象となる経費	備考	補助率
地域養豚振興促進事業	・人工授精用の精液、器具等の導入 ・優良種豚の導入 ・妊娠鑑定機、換気扇、飼料攪拌機などの導入 ・銘柄豚肉の販売促進経費	・純粋種生産に供するもの ・優良種豚の要件有り	1 / 2 以内 (上限有り)
生産性向上促進対策事業	・検討会、講習会等の開催経費 ・動力噴霧器、消毒薬等の導入 ・人工授精用の精液、器具等の導入 ・妊娠鑑定機等の導入 ・自動給餌機等の導入	・事故率低減につながるもの ・衛生資材等 ・一代雑種又は肉豚の生産に供するもの	1 / 2 以内 (上限有り)

補助事業のご希望は、下記へ 5 月 15 日(厳守)までにご連絡ください。

(社)長野県畜産会  
(担当: 山寺)

TEL: 026-228-8809  
FAX: 026-223-0264

農政部園芸畜産課家畜生産・衛生係  
(担当: 唐沢)

TEL: 026-235-7232  
FAX: 026-232-7481



## その2 豚コレラウイルスの抗体陽性豚（ワクチン無許可接種の疑い）が確認された事例について



本年4月、(株)ヒラノ(本社:栃木県)の北浦農場(茨城県)において、豚コレラの清浄性確認サーベイランスを行ったところ、豚コレラの抗体陽性である豚が確認されました(検査69頭のうち11頭)。

このため、当該農場及び関東・東北5県に同社が所有する69の関連農場において、豚等の移動を自粛するとともに、立入検査、ウイルス確認検査を実施した結果、茨城県、千葉県、栃木県及び福島県の25農場で飼育する豚から豚コレラの抗体陽性が確認されました。

調査の結果、同社農場に豚コレラワクチンが保管されていたことを確認し、母豚では平成19年4月まで、育成豚では、本年3月まで当該ワクチンを接種したことが判明しました。

**養豚家にみなさまには、次のことを改めてご理解ください。**

- 1 豚コレラの防疫については、全国的に清浄性が確認されたことに伴い、平成18年4月以降、ワクチン接種は一斉に中止されています。
- 2 現在、豚コレラが発生し、都道府県知事の許可を得た場合(監視区域内)以外でのワクチン接種はできません。
- 3 もし、農場に豚コレラワクチンの在庫がある場合には、ワクチンを適切に処分する必要がありますので、速やかに管轄する家畜保健衛生所にご連絡ください。

**◎家畜保健衛生所から5月上旬までに、県内養豚家全戸を対象に豚コレラワクチンの保有状況調査(立入検査、聞き取り調査等)が行われますので、ご協力ください。**

## その3 海外からの種豚導入と液状精液の供給について

長野県では、海外から以下の種豚を導入し、畜産試験場から精液を供給しています。液状精液の配布を希望される方は、畜産試験場養豚養鶏部(0263-52-1188)までご連絡ください。

導入年度	輸入国	品種	生年月日	備考
H17	イギリス	バークシャー	H17.8.1	
H18	イギリス	バークシャー	H18.7.2	
	イギリス	中ヨークシャー	H18.8.24	
	イギリス	大ヨークシャー	H18.7.13	
	イギリス	デュロック	H18.5.16	
H19	アメリカ	バークシャー	H19.4.10	精液配布は種畜検査以降の予定
	アメリカ	バークシャー	H19.7.13	
	(改良センター※)	中ヨークシャー	H19.10.27	

※家畜改良センターで18年度にイギリスから導入した個体同士の産子



H19年輸入  
バークシャー



H19年輸入  
大ヨークシャー



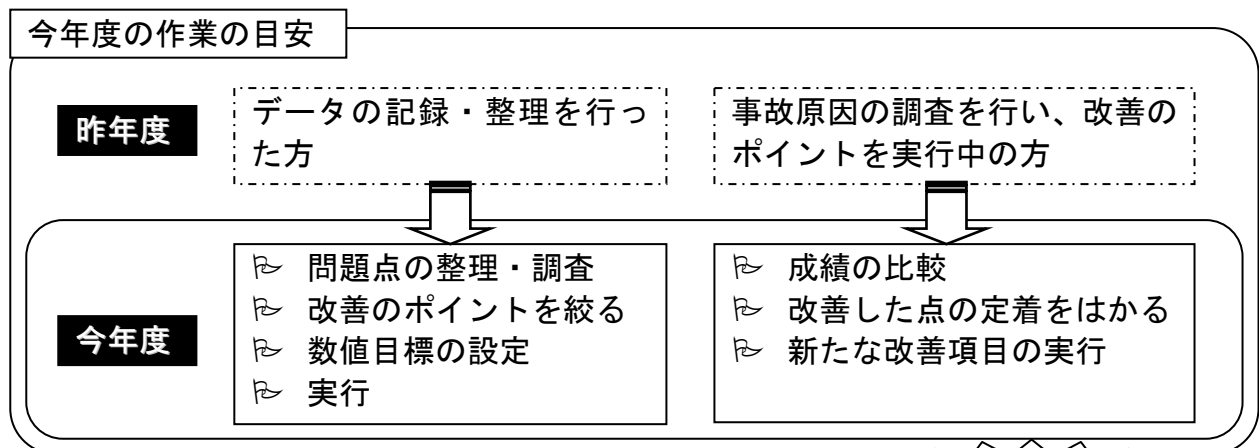
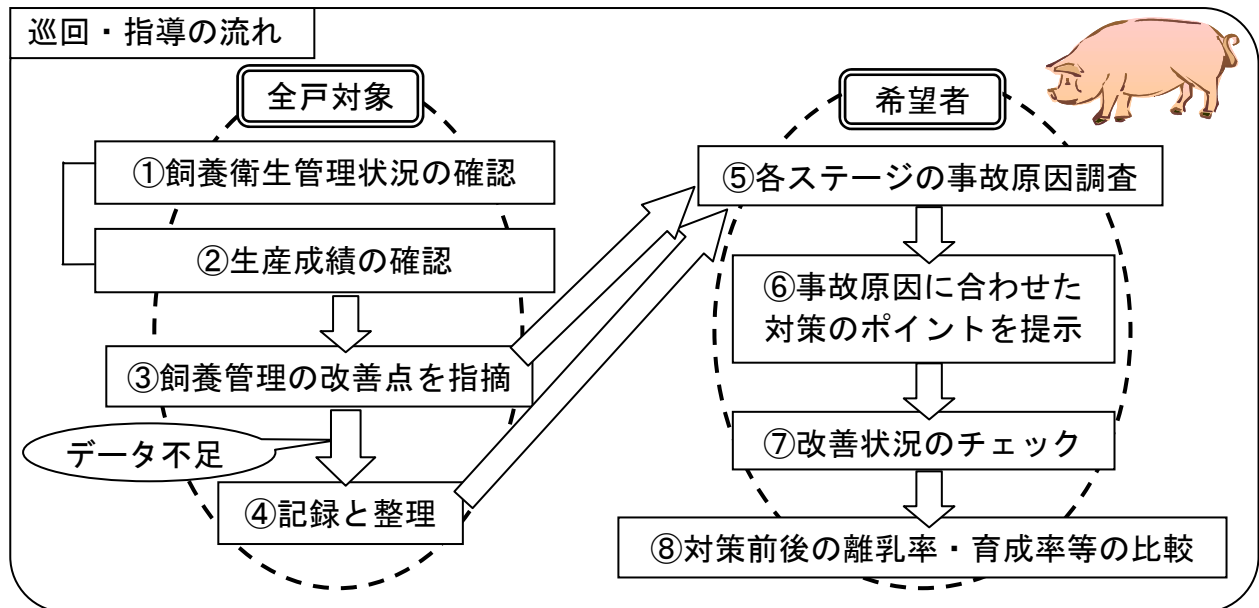
H19年輸入  
デュロック



H19年輸入  
中ヨークシャー

## その4 飼料コストの増大に対処するために、疾病や事故低減による生産性向上を目指しましょう！

県内の養豚農家全戸を対象として、家畜保健衛生所が中心となり、JAなどと連携して養豚特別巡回を行います。また巡回の結果、必要な場合には、疾病原因の調査・検査等を実施し、原因に合わせた対策指導を行います。



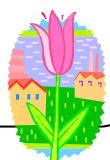
国産の畜産物への消費者の信頼に応えるためにも、ストレス要因を減らして、豚が健康に育つ環境づくりを推進しましょう。

ストレス要因  
 移動 群編成・いじめ  
 飼養密度 換気・温度  
 不衛生な環境・病原体

## その5 オーエスキー病の防疫について

本県では昭和62年度以降発生がなく、清浄地域となっていますが、全国の発生地域に大きな変化はありません。養豚家のみなさまには、長野県へオーエスキー病を侵入させないためにも、次のことの徹底を改めてお願いします。

- ・ 種豚は、清浄地域からワクチン抗体陰性豚を導入し、導入時に家畜保健衛生所による抗体検査を受けること
- ・ 導入後は一定期間の隔離飼育・観察を実施すること
- ・ 農場の立入規制及び出入りする車両等に対する消毒の実施すること



## その6 豚サーコウイルス2型ワクチンについて

九州や関東では最近事故率のかなり高い農場があり、その原因として豚サーコウイルス2型（PCV2）が関与している疾病が疑われています。県内でも病性鑑定で診断される例が出ています。ワクチンが最近市販されたところですが、サーコ対策について簡単にご紹介します。



### 「サーコ」って??

- ・ 消毒薬に比較的強い(有効薬剤：塩素系・ヨード系・アルデヒド系・消石灰)
- ・ 多くの農場にすでに浸潤（農場抗体陽性率90%以上?）
- ・ 他の病原体（PRRS、マイコ・・・）との複合や環境要因により発症
- ・ 一般に単独では病気を起こせないといわれてきたが、最近、単独感染で重症化したことが疑われる事例も報告されている。

### どんな病気が?

- ① PMWS（離乳後多臓器性発育不良症候群）～ヒネ豚症候群ともいわれる～  
離乳後の急激な消瘦、事故率の上昇（50%になることも!）、呼吸困難、黄疸
- ② PDNS（豚皮膚炎腎不全症候群）… 離乳～肥育期に体表に紫赤色斑、症状が重いと死亡
- ③ PRDC（豚呼吸器複合感染症）… PRRS、マイコなどと複合感染、呼吸器症状重篤化  
※ PCV2に関連した上記のような病気を総称してPCVAD（豚サーコウイルス関連症）と呼びます

### 発症の要因は?

- ・ 感染→即発症ではない。他の病原体や環境の悪化があって発症。
- ・ PRRS等がうまくコントロールできているか、飼養衛生管理状態はどうか、ウイルスの量などがポイント
- ・ ワクチン接種も免疫系に影響→新しい感染が次々と起こっている時期のワクチン接種も発症要因の可能性あり

### 対策は?

- ・ 他の疾病、特にPRRS対策をしっかりとすること
- ・ 農場防疫の徹底、オールイン・オールアウト等ピッグフロー改善
- ・ 良好な豚舎環境の維持（温度、換気、すきま風防止等）等飼養衛生管理の改善によるストレス軽減



**☆ワクチン；効果はある。が、万能ではない！**

飼養衛生環境が悪い農場では効果は期待できない

PRRSとの混合感染をワクチンだけで抑制することはできない

### まとめ

以上、簡単にまとめてみました。何より大事なのは「飼養衛生管理を原則通りきっちり行う」ことです。

より詳しい情報については各家畜保健衛生所にお問い合わせください。

佐久家畜保健衛生所	TEL 0267-62-4123	飯田家畜保健衛生所	TEL 0265-53-0439
同上田支所	TEL 0268-23-1630	松本家畜保健衛生所	TEL 0263-47-3223
伊那家畜保健衛生所	TEL 0265-72-2782	長野家畜保健衛生所	TEL 026-226-0923